



園長だより

NO. 21. 9. 22 (Mon)

ちょっぴり聞いて
頂いてもいい
ですか?

ある日の放課後、南門に、いかにも好青年の男性と
女性が笑顔で立っていて、近づいていくと、「あー!!
〇〇君と〇〇ちゃんだ」瞬時に走馬燈の様に、心の

時計が逆回転し、16年前の記憶が甦ってきたんです。そうです、卒園生
今はもう二人共19才と18才、大学生だそうで、その立派な子が、ふいに
な姿も勿論嬉しいんですが、こうして園を訪れてくれた遊びに来てくれ
事も、何より嬉しくて、「保育士冥利に尽きるな〜」と、
心から喜びをかみしめました。

幼稚園時代はどちらかというと内気、ぽかたとか、「よく風邪を
をひいたんだよ〜」とか、幼稚園時代を懐古したり、卒園式の日にした会話
まで、私の中デリポートし、昔話に花がさきました。

その後も新しい遊具やアスレチック、お山とフルコースで遊んでくれ、

目指している夢や、なりたい職業も「〇〇と〇〇で悩んでいるん
ですよ〜」と、ちょっぴり相談もしてくれたり…。

「また来ます」と高揚した笑顔で姿勢を正し、挨拶して去っていく
卒園生が顔を成長した大きな背中にこれ又、嬉しい感動で
みせてくれる。更に、ちょうどそこに、今存園して下さっている
お子様の保護者様が通りかかり、

「卒園生の子が遊びに来てくれているんですよ」とお話ししたら、
もう卒園したその子の(在園の子の)お兄ちゃんが、「園長先生、

〇〇も将来「志都呂幼稚園」の先生になりたいって、言っ
ているんですよ」なんて声を掛けてくれ、二重の喜びで〜

保護者の皆様に「志都呂幼稚園」をお選びいただき、先日も卒園した
頂き、こうしてかわいい子とも逢い、

ひとつひとつの成長を保護者様と喜び
合える日々、パワーを貰い、こんな有難い

事がないな〜と、改めて自身の置かれている
今、そして、周りに居て下さる方々全てに感謝の念が溢れた日でした!!

卒園生の子が気軽に来園してくれる「故郷の様な園」が私の
常の目標なので本当に、本当に有難く、嬉しかったんです!

